

自動車車体整備科

概要

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		自動車整備専門課程	自動車車体整備科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1,013 単位時間	300 単位時間		804 単位時間		
			1,104 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		26人	0人	1人	1人	2人	

カリキュラムの編成方針

国土交通省で定める『自動車整備士養成施設の指定等の基準』における一種養成施設の「自動車車体整備士の養成課程」に準拠した教育計画に則り、学科、実習を1年間で編成しております。

実習は少人数グループで、車体整備に不可欠なフレーム修正機や調色用測定器、大型塗装ブース、水冷電気抵抗スポット溶接機など最先端の設備を使用している内容となっております。

成績評価の基準と方法

一般教養学科の学習評価は60%以上の出席があった教科について、履修を認めております。

専門学科の学習評価は90%以上の出席があった教科について、教科ごと学期ごとに中間試験及び期末試験を行い、平均得点60点以上で履修を認めています。

実習の学習評価は95%以上の出席があった教科について、実習ローテーションごとに実技試験を行い、試験の得点を70%、課題等の提出資料を20%、平常の学習態度を10%で換算し、合計60点以上でその教科の履修を認めております。

各教科の評定は次のとおりです。

評価(点)	100~80	79~70	69~60	59以下
評定	A	B	C	D

なお、再試験により合格した教科の得点は60点として認められます。また、追試験を行った場合は追試験得点の90%がその教科の得点として認められます。

卒業・進級の認定基準

すべての教科の履修が完了した学生は、進級または卒業が認められます。未履修の授業科目がある学生は申請により補習授業や再試験を行うことで未履修科目を解消することができます。

修学支援等

- ・入学後間もなく担任と学生の個別面談を実施し、夢や抱負、悩みごとなどを話し合います。
- ・担任と学生との個別面談は、就職活動の開始時など学生の希望があれば随時行います。
- ・6月に保護者懇談会、8月に保護者との個別面談会を開催して、教育活動や学生の情報を提供し

ております。

- ・自動車車体整備士学科試験のため特別授業を編成して、合格率のアップをサポートしております。

進路指導

<卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）>

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
27人 (100%)	10人 (37.0%)	17人 (63.0%)	0人 (0%)

<主な就職等>

主な就職先は各メーカー系ディーラーへの就職率 99%です。また、出身地への U ターン就職もサポートしております。

<就職指導内容>

本校では、学生の希望を第一優先に就職活動をサポートしております。

履歴書の書き方、面接試験の指導、企業訪問等の指導は主に担任が行い、進路指導部が 1 日につき 1 社の関連企業を招き、校内で会社説明会を開催しています。

<主な学修成果>

本科を卒業すると自動車車体整備士試験の受験資格（実技試験免除）を持つことができます。また、在学中に有機溶剤作業主任者資格を取得することができます。

中途退学者等

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任および学年担当教員による個別相談		